

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2005年6月10日発行

No.23



こどもの日特別企画

カニと遊ぼう!!

5月5日に開催しました。

当日は、天候にも恵まれ子供の日にふさわしい楽しい観察会となりました。講師は、「しかたに自然案内」の鹿谷 法一、麻夕先生。(参加者19名)

はじめに、室内でカニの説明がありました。黒板にいろいろなカニの絵がはられています。説明が終わると、なんと！鹿谷先生がカニの絵をバラバラにしてみました。ここからは、カニを元に戻すゲームです。参加者は、ハサミ・脚・目・・・カニを元に戻すべく、一生懸命黒板にパーツを選んで貼っていきました。結果は・・・大正解は、1名でした。

後半は、いよいよ干潟に出発です。

泥にはまりながら、カニを捕まえるのにみんな一生懸命!! じっとしているとツノメチゴガニがいっぱい出てきてくれました。バンザイをする姿がなんともかわいい。

捕まえたカニはバットに入れ、みんなで観察しました。

カニを干潟に戻して、観察会を終りました。



カニのパーツを探す参加者。どれかなあ？



黒板に「これ!!」と思うものを貼っていきます。このハサミであってるかな？



こちら、シオマネキでございます。みんな、よおく見てね。シオマネキのハサミってすごいね。

カニの説明をする鹿谷先生



干潟でカニを捕まえます。うーん、結構難しい・・・

6月は環境月間。 考えてみよう、漫湖のゴミ

「鳥や動物たちは、私たちの生活をじゃましていないのに、鳥がいる水辺には、いっぱいゴミが落ちていたのでかわいそうでした。」これはセンターを訪れた小学生の言葉です。県外からきた観光客にも「ゴミが多いですね。」とよく言われます。

満潮時に水面を漂うペットボトル、マングローブにひっかかったビニールシートや買い物袋、干潟に打ち上げられた無数のタバコ、廃タイヤや車のバッテリー・・・

これがラムサール条約に登録された漫湖の悲しい現状です。

この状況を見かねたセンターボランティアの小学生たちが、昨年度はほぼ毎週集まってゴミ拾いをしていました。一体どんなゴミが多いのか？3m四方の区画内で、小さなゴミも徹底的に拾った時には、最も多かったのがタバコの吸殻！何と441本もあったのです。

もちろんタバコだけではなく、お菓子の袋、チューチューアイスの袋も多いです。ポイ捨ては、大人だけの問題ではありません。道端で捨てられたゴミも、結局川へ流れ込み、最終的には海へ行くのです。漫湖にこれだけゴミがあるということは、その先の海の底には、もっとたくさんのゴミが積もっていることでしょう。

センターでは、ボランティアでゴミ拾いもしていますし、豊見城市や那覇市でも年に数回大規模な清掃活動をしています。それでも流れてくるゴミの量には追いつきません。

ゴミを捨てる前に、一瞬でもいいから「その後どうなるのか」ということを考えてみて下さい。ゴミの間でエサをとるカニや鳥や魚の気持ちになってみて下さい。結局ゴミ問題の解決は、人間一人一人の行動にかかっているのです。



漫湖には家電やバイクなど大きなゴミの不法投棄も多い。ボランティアで拾った大型ゴミは、南部土木事務所による回収までの間、一時的に河岸に置かれているが、その場所にもさらに不法投棄されてしまう・・・
(看板は、子どもボランティアが作ったもの)

センター裏庭に「マングローブ広場」開設！



ボランティアのみなんで、センターの裏庭に密生していた背の高いヨシを一部刈り取り、その向こうのマングローブ林が見えるようにしました。

蚊にたかられ、ハブにおびえながらの難作業でしたが、開通した場所にはハブ除けネットを張っているのでご安心を。目の前には樹高4mあまりの大きなメヒルギがそびえ、足元にはオカガニの巣穴がたくさんあります。ぜひみなさんもお覧下さい。

←ついに完成!!

ボランティアのみなさん、暑い中ありがとうございました。

子供たちに大人気→



漫湖水鳥かわら版23

～夏鳥がやって来た!5月～

5月

	羽数	先月との比較
ゴイサギ	2	↑
アマサギ	17	↑
ダイサギ	22	↑
チュウサギ	6	↑
コサギ	6	→
アオサギ	2	↓
クロツラヘラサギ	3	→
ミサゴ	3	↓
バン	2	↑
ムナグロ	22	↓
キョウジョシギ	1	↑
アカアシシギ	2	↓
アオアシシギ	1	↓
キアシシギ	17	↑
イソシギ	9	↑
ダイシャクシギ	1	→
チュウシャクシギ	6	↓
コアジサシ	2	↑
ハシブトガラス	2	↑
合計	126	↓

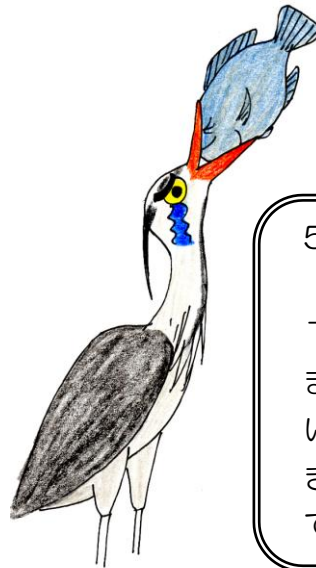
5月5日

夏をつげる鳥、コアジサシ登場。青空をひらひら飛んで、気持ちよさそう。



5月7日

ダイサギがなにやら、口からぶら下げているぞ…ウナギを食べている!!

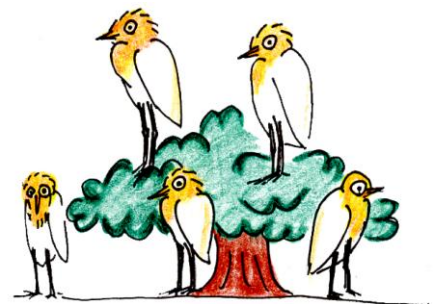


5月14日

アオサギがとっても大きな魚をGET!しかし、いくら頑張っても飲み込めません。別のアオサギもやってきて、奪い取ろうとします。結局飲み込めず、あきらめました。獲物が大物すぎても問題ですね。

5月15日

シラサギがたくさんいるぞ!!よく見るとアマサギが17羽もいました。他のサギも合わせて50羽ほど。マングローブの緑とサギの白がとってもきれいでした。



もう一つの漫湖

～ハーリー由來まつり～

緑の木立に囲まれた、ここは豊見城城址公園。風がさわやかな広い敷地を通り抜けると、眼下に漫湖がゆったりと横たわっている。その昔、この漫湖でハーリーが行われていたこと、皆さん、ご存知だったでしょうか？
そうです。漫湖はハーリー発祥の地でもあるんです。

ちゅうや、ハーリーウガミ（拝み）ぬ日やいびーん。我した島の人々の繁栄と、健康を祈願して豊見城の金城豊明市長をはじめ、関係者、地元の人たちが参列して、とり行われました。

*** 行事のお知らせ ***

センター主催 自然講座

楽しく学ぼう!! マングローブ

日時：6月19日(日) 13時～15時

対象：小学3年生以上

場所：漫湖水鳥・湿地センター2階

レクチャー室

定員：50名・要予約(先着順)

参加費：無料

講師：馬場 繁幸

(国際マングローブ生態系協会事務局長)

*お申し込みは、漫湖水鳥・湿地センターへ

(098) 840-5121

センターに看板ができました!!

ついに看板ができました。設置直後から、立ち止まって見ている方が多く、「看板を見て、はじめて何の施設か分かった。」という声も…

センター案内看板の横には、掲示板もあり、センターでの行事やお知らせなど掲示しています。

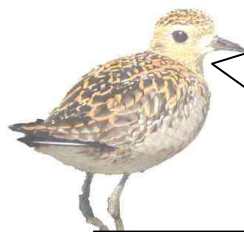
ご来館の際には、ぜひ、看板の前で写真を一枚どうぞ!!



利用団体 5月

小学校	
とよみ小学校 3年生	
とよみ小学校 4年生	
とよみ小学校 5年生	
小祿南小学校 6年生	
座安小学校 4年生	
宇栄原小学校 3年生	
中学校	
鏡原中学校 1年生	
仲井真中学校	
三重県霊峰中学校	
大学	
沖縄大学	
NPO 団体	
JICA ウェットランドセンター	
その他	
南風原ボーイスカウトピーパー隊	
クラブツーリズム (5回)	

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ



総入館者数

44,902人

入館者数

5月 2,041人
(うち団体 1,216人)

市町村別入館者数(人)

	市町村	人数
1	那覇市	943
2	豊見城市	572
3	県外	404
4	その他	24

*** 編集後記 ***

マングローブ広場の開拓は、まるでサトウキビ狩りのような気分でした。鎌を片手に悪戦苦闘でしたが、年度末からデスクワークが多かったので、こんな作業もまた楽しい! ボランティアの皆さんもおつかれ様でした。

*** 今回より、経費節減のため全面白黒印刷とさせて頂きました。 ***



米谷 保彦

〈 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) 〉

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/